



## 加藤 侑泉さん(2000年生まれ)

幸田高校 出身

慈惠福祉保育専門学校 介護福祉学科卒業

## 社会福祉法人碧晴会 特別養護老人ホーム川口結いの家

碧南市川口町 1-178-1  
<http://yuinoie.or.jp/>

なるためには

●必要資格 / 介護福祉士

- 主な進路 / 高校卒業→介護福祉士の養成課程がある専門学校、短大、大学に進学→介護福祉士の資格を取得→介護施設に就職

「卒業後、川口結いの家に就職しました。まずは、入所者様の名前と顔を把握するところから。少ししづつ介助に携わらせてもらいました。」

接し方を大切にしています

でも自分でできることが増える  
ように考え寄り添ってケアをする  
存在。できることは自分で。本当に  
できないことをお手伝いしていま  
す。ここが以前住んでいた自宅と同  
じように落ち着ける場所だと感じ  
ていただけるように、心のこもった

以前は、介護職つて身の回りのことなんでもサポートする人というイメージでした。でも実際は、入所者様が日常生活を送るなかで少

「**仕事内容について教えてください。**  
れるのかを常に考えながら仕事に取り組んでいます」

てもらうようになります。必要なものをお家族の方に連絡したり、どうしたら入所者様が快適な生活を送

A medium shot of a young woman with short dark hair, smiling behind a white face mask. She is wearing a light-colored t-shirt under a green strapless apron. She is holding a light-colored wooden tray with both hands. On the tray is a small, vertically striped cup in shades of blue and white, and a small white plate with a single piece of food on it, possibly a sandwich or a small cake. The background is a plain, light-colored wall.



18

ボランティアや職場体験がきっかけで福祉の道を志す。

30

慈恵福祉保育専門学校に進学。実習を通して、一人ひとりに合わせたケアの仕方を学び

21

施設が自宅のように落ち着ける場所になるよう寄り添ったケアを心がける。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



# 日々のふれあいを通して、未来をつくる子どもたちを育てる仕事。



山下 遥己さん(1998年生まれ)

足助高校 出身

慈恵福祉保育専門学校 保育学科卒業

慈恵幼稚園

安城市西別所町中新田18

<http://jikei1-y.sakura-g.ac.jp/>

なるためには

●必要資格 / 幼稚園教諭、保育士

●主な進路 / 高校卒業→幼稚園教諭の養成課程がある専門学校、短大、大学に進学→幼稚園教諭免許、保育士資格を取得→幼稚園に勤務

## —学生時代

「この仕事をめざしたのは、中学の職業体験に参加したのがきっかけです。数日間のふれあいで成長を感じる場面があり、子どもたちの成長を間近で見てていきたいという思いが芽生えました。慈恵のオープンキャンパスに参加したとき、先輩や先生が親身に話してくれたのが印象的でした。先生と生徒という関係ではあるのですが、些細なことも相談できる環境にも惹かれ、慈恵福祉専門学校に進学しました」

「子どもの成長段階、病気についてなど保育に関する基礎を座学で学んだことが役立ついると感じます。短期間で一気に専門知識を学べたこともよかったです。子どもとのコミュニケーションのとり方や保護者の方へのケアなどは実習で学びました。運動会や生活発表会などの行事にも関わらせてもらえたので園の流れも知ることができました。時間配分を考え、先を見通す力も身についたと思います。卒業後慈恵幼稚園で働いています」

### — 仕事について

「未来をつくる子どもたちを育てるのが自分たちだという意識をもつて、日々、子どもたちと接していくます。この時期に褒められたことって意外と記憶に残っているので、つくるのじょうずだね」「早く走れたね」と褒めたり私の存在がこれからにつながる大事な一步になれば

### — やりがい

「女性の多い環境で、男性が怖いっていう子もいます。最初は、どうすればそれを払拭できるのかを試行錯誤する日々でした。次第に『一緒に遊ぼう』と寄つて来てくれたり、自分のことを好いてくれているのはホッとしますしやりがいを感じますね」

## —なるためには

「まずは、幼稚園教諭免許、保育士資格を取得することですね。学校選びの際は、オープンキャンパスに参加して学ぶ環境や雰囲気を見てください。最近は、挫けてすぐに投げ出してしまう人が多い気がします。私は高校時代の部活を通して、失敗や挫折しても意識を切り替えられるようになりました。先生が不安そうにしていると子どもも不安になるので、しっかり芯のある人間力を学生時代に養つておいてほしいです。つまりの意見を素直に受け止めて、次につなげることが大切ですよ！」



18歳

部活に熱中した高校時代。忍耐力や人間性を養う。

↓  
20歳

慈恵福祉保育専門学校に進学し、保育の基礎、コミュニケーションについて学ぶ。

↓  
22歳

日々のふれあいを通して、未来をつくる子どもたちを育てる。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>





**相手が求めているものをヒアリングし、自分の中で飲み込んでベストな提案を。**

**今井 裕司** さん(1991年生まれ)  
岡崎城西高校 出身  
愛知学院大学 経営学部卒業

**岡崎製材株式会社**  
岡崎市戸崎元町4-1  
<https://www.okazaki-seizai.co.jp/>

**なるためには**

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学し、マネジメントやマーケティングについて学ぶ→建築資材、木材などを販売する企業に就職→営業として勤務

**ー 学生時代**

「高校時代の思い出は、和太鼓部の活動です。教育文化賞をいたたくような部活だったので、ずっと和太鼓の練習をしていました記憶があります。分野は特に考えていませんでしたが、将来は地元の企業で働きたいと思っていました」

**大学時代について教えてください。**

「学生数が多くていろんな出会いがありそうだと思い、愛知学院大学に進学しました。学部は経営学部。市場商品顧客の関係、マネジメントやマーケティング、経営戦略について学んだことはいまの仕事にもつながっていると思います。大学生活や軽音楽部の活動を通して、交友関係が広がりました。コミュニケーション力を養えたことは、社会人になったいまも役立っています」

**ー 仕事について**

「営業職を軸に、地元の企業で就活をおこないました。インテリアが好きだったこともあり、岡崎製材に就職。希望通り営業として働いています。入社当初は、建築資材で使われる木材の種類や規格、長さや面積の単位である尺貫法の考え方など、専門知識をひたすら覚えた記憶しかないです。売上や仕入れ、粗利率など、営業としての基本も教わりました。最初の1年は、先輩が話す言葉をメモって勉強する日々。とにかく結果を出すために量をこなすこと意識しました。なんでも挑戦するという意識も大切にしています」

**ー やりがい**

「お客様から案件をいただき、ヒアリング、見積もり、成約という段階を経て工事が進んでいきます。時間をかけて提案したものが成約にいたったとき。やっぱりその瞬間に常に業のやりがいを感じます。工事が完了したあとに、自分の仕事の成果が目に見えて残るのもうれしいです」

**ー なるためには**


和太鼓に熱中した高校時代。卒業後、愛知学院大学に進学。  
マネジメントやマーケティング、経営戦略について学ぶ。  
岡崎製材で営業として勤務。なんでも挑戦するという意識を常にもち、日々の仕事に取り組む。

**18歳**  
↓  
**22歳**  
↓  
**29歳**

18歳: 和太鼓に熱中した高校時代。卒業後、愛知学院大学に進学。  
22歳: マネジメントやマーケティング、経営戦略について学ぶ。  
29歳: 岡崎製材で営業として勤務。なんでも挑戦するという意識を常にもち、日々の仕事に取り組む。

「お客様から案件をいただき、ヒアリング、見積もり、成約という段階を経て工事が進んでいきます。時間をかけて提案したものが成約になりました」といいました。

「細かい気づかいが大切な仕事だということに気がつきました。現場で実際に作業するのは職人さんたち。現場で職人さんが気持ちよく作業できるよう、資材を納品する順番を考えたり、予定がずれたときの納期調整に気を配っています」

「あなたがこの仕事を始めたときに見えて残るのもうれしいです」

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！  
<http://amb100search.com>





田中 沙耶さん(1997年生まれ)

愛知産業大学三河高校 出身  
三河歯科衛生専門学校 卒業

いとうm歯科

岡崎市竜美台 2-5-13  
<https://itom-dent.com/>

なるためには

- 必要資格 / 歯科衛生士
- 主な進路 / 高校卒業→専門学校に進学→座学や実習を通して基礎を学ぶ→国家試験に合格し、歯科衛生士の資格を取得→歯科医院に就職

「歯科衛生士の資格を取得し、現在は、いとう歯科で働いています。最初は、先生の補助が中心。先輩の隣で、どんなことをしているのか、どう対応しているのかを学びました。一人ひとり口腔内の状況や病気が違うので、患者さんに合った指導やクリーニングの仕方を学びます」

二ヶ月～三ヶ月の部分です。この部分の後期からは実習が中心になります。実習では、教科書では学べない臨機応変な患者さんのサポートの仕方、治療の流れなどを学びました。最初は先生が何をやっているのかわからりませんでしたが、徐々に次は何を準備すればいいのかを理解して行動できるようになつていきました」

「生活習慣やブラッシングの指導おこなった患者さんから、後日『血がなくなったよ』とか『きれいしているよ』などの声をいただきました。口腔意識が上がっていることを感するとやりがいを感じます。治療の最初と最後に歯の状態の写真撮るのですが、『こんなにきれいなったんだ!』とよろこんでもらったときもうれしいです」

生が必要としている器具を準備  
たりします。2つ目は、**予防歯科**。  
**ケーラーやキュレット**という道具  
を使って歯石を取つたり、口腔内  
掃除をします。3つ目は、**保健指導**  
生活習慣やブラッシングの指導  
を通して歯の健康をサポートします  
——**やりがい**

【患者さんは、先生には話せないことを歯科衛生士には話せるということ】  
ことがけつこうあるんです。患者さんと先生の架け橋として、治療のサポートをおこなっています。具体的

A dental professional, likely a hygienist or orthodontist, is shown from the chest up. She is wearing a white surgical mask, blue nitrile gloves, and a red and black dental uniform. She is holding a dental model of a lower arch with orthodontic braces and a dental instrument, possibly a mirror or probe, in her hands. She is smiling at the camera.



**18歳** 学校説明会をきっかけに、歯科衛生士の仕事に興味をもつ。

**21歳** 三河歯科衛生専門学校に進み、座学や実技、実習を通して歯科衛生士としての基盤を養う。

**23歳** 治療補助や予防歯科、保健指導を通して、患者さんの歯の健康をサポート。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



卷之三

「専門学校に進み、歯科衛生士の資格を取得することが第一歩です。



**笑顔でチャレンジ!!**

**中島 有希**さん(2000年生まれ)  
岡崎商業高校 出身

**岡崎鋼材工具株式会社**  
岡崎市六地蔵町1-4  
<https://okazakikouzai.com/>

**何事も失敗を恐れずに挑戦すること。**

●必要資格 / 特になし  
●主な進路 / 高校卒業→鋼材・工具などの販売をおこなう企業に就職→業務部に配属

**— 学生時代 —**

「商業高校で実務的な勉強をして、卒業後はすぐに就職したいと思っていました。電卓検定などの資格を取得したり、授業でプログラミングやワード、エクセル、パワー・ポイントなどオフィスソフトの使い方を学んだことは、いまの仕事でも役立っています」

**就職先を選んだ決め手は?**

「高校卒業後は、地域の製造業や建設業のお客様向けに、鋼材・機械工具、鋼材加工品等の販売をおこなう岡崎鋼材工具株式会社に就職しました。100年以上続いている会社をあまり知らないかったので、それが地域に愛されている会社なんだろうと思い、入社を決めました」

**— 仕事について —**

「入社当初は鋼材と工具の商品知識がまったくないので、何がどこで使われているのかわからず状態。材料の呼び方もお客様によって違っていたので、最初は電話に出るのも心配でした。でも先輩から、鋼材工具の知識伝票の書き方や書類の処理の仕方などを教わりながら、少しずつ仕事を覚えていきました。入社以来、意識しているのは何事も失敗を恐れずに挑戦すること。そして絶対に最後までやりきること。私は会社に入つてから、新しくプログラミングについて勉強をしています」

現在の仕事内容を教えてください。  
現在は、業務部に所属しています。お客様から届いたファックスや注文書をもとに、在庫があるかを確認

**— 心がけていることは? —**

「会社の入り口において、来客があつたときに最初に対応するのが私たち。会社のイメージや社内の雰囲気を左右するポジションなので、常に笑顔でいることやしっかりと目を見て話すことを心がけています。あと帰ってきたとき、癒しの存在でいらっしゃるよう意識しています」

**— やりがい —**

「当社は、突発の案件がけつこうあるので、どうすれば即座に対応できるのかを常に考えています。「急いでつめて来てほしい!」と言われ、合ったときは達成感を感じます。そして、お客様からの『ありがとう』という言葉にもやりがいを感じます。こうした真摯な対応ができ納期に間に合ったときは達成感を感じます。それでも、友達の存在がきっと支えになりますよ」

ありがとうございました。

【18歳】 就職を意識し、オフィスソフトの使い方など実務的な勉強に励む。

【19歳】 高校卒業後、岡崎鋼材工具株式会社に就職。業務部に配属。笑顔と元気なあいさつを心がけ、日々の仕事に取り組む。

【必勝年】

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!  
<http://amb100search.com>

QRコード

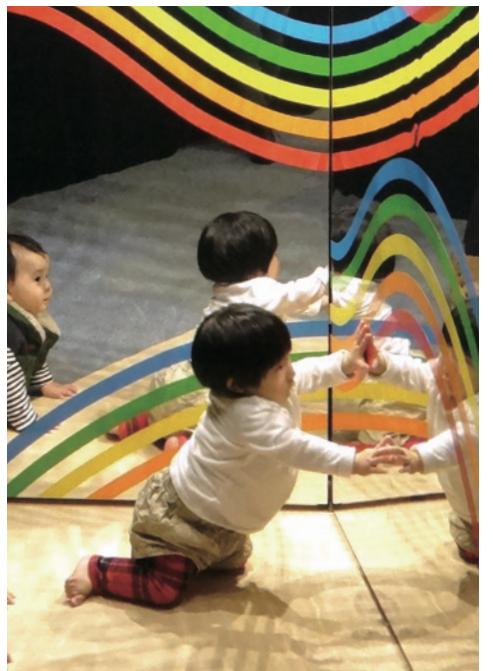


**— なるためには —**

「特に必要な資格はありません。パソコンを使う機会が多いので、ワード、エクセル、パワー・ポイントなどオフィスソフトの使い方は勉強しておいたほうがいいですね。あと笑顔と元気さえあれば先輩がやさしく仕事を教えてくれるので心配いりませんよ。高校時代は、勉強を頑張るのはもちろん、友達との時間も大切にしてくださいね。高校の友達と過ごした時間は一生の宝物です。仕事でつらいことがあったとしても、友達の存在がきっと支えになりますよ」

【必勝年】

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!  
<http://amb100search.com>



した。夫がそんな私を見て、「悩むく  
らいならフリーーランスでやれば?」  
と声をかけてくれたんです。やつて  
いけるかなという不安もありまし  
たが、夫の一 声で「じゃあ、やつてみ  
るか!」という気持ちになりまし  
た。それが27才のときです」

その後、絵本を出版する経緯とは?

「結婚してフリーーランスになつたと  
き、仕事として成立していける基盤  
を作らなきやという気持ちから、種  
をいろいろ撒いていたんです。その  
候補のひとつが、学生時代から作つ  
ていたしかけ絵本の出版でした。最  
初は夢物語でしたけどね。自分が出  
版社の人間だったら、こんな絵本は  
門前払いだつて思つていましたか  
ら(笑)。でもうまくいかなかうな  
ものでも、条件が揃つたときに急に  
進展することがあるんです。何十年  
も作り続けて、60才くらいまでに1  
冊出でいたらしいなどいう感覚で

「いたのですが、運よく福音館書店と  
いう老舗の絵本の出版社から『かが  
みのえほん※』を2冊同時出版で  
きることになつたんだです」

「それは、急展開ですね！」

「会社員時代にも感じたことですけ  
ど、順調にいきそうだと思っていた  
プロジェクトでも、何かの理由で急  
に頓挫してしまうことが多々あつ  
たんです。逆に、これは無理だろう  
なつて思つていたものが意外に  
もうまくいつたり。でも、まさかこ  
んなにすぐ出版までいくとは思つ  
ていませんでしたけどね」

## —活動内容について

手かを競うのではなし、  
を表現するほうが辛  
ています。アーティストとして現代  
アートのイベントに呼ばれること  
もあるのですが、本心では私はアーティストではないと思っています。  
難しいことは苦手だし、自分はいたって普通の人間だと認識しているので(笑)。シンプルにできるだけ多くの人によるこんでもらえるもの、楽しんでもらえるものを作りたいという思いがあるだけです。見る人の知識や経験はまったく関係なく、絵本を開いた瞬間に『わー!』って思えるものを作りたいんです。できただけ多くの人に難しいことを考えずシンプルに楽しんでもらいたいという思いは、昔からあまり変わっていないですね」

意味がある  
なく、

める。

—メツセーー  
「みなさん一人ひ  
るので、世の中に  
フィットすること  
はず。でも、自分が  
ことを仕事にする  
しいことです。だから  
めるな』とは簡単で  
なさんは、あき  
り、どうしたらいい  
の正解を考え続け  
してほしいです。白  
いいので、自分が納  
んでくださいね！  
ありがとうございます！」

どりに個性がある  
は自分の個性が  
ろがきっとある  
本当にやりたい  
のってとても難  
からこそ『あきら  
に言えません。み  
らめないことよ  
いのか、自分なり  
ることを大切に  
自分でできる道を選  
ました。

隣の人とどっちが上手かを競うのではなく、  
まだ世の中に出でていない、  
自分だけのアイデアを表現するほうが意味がある。



A woman with dark hair, wearing a black and white striped shirt, is kneeling on a blue plastic sheet, working on a large-scale artwork. The artwork consists of several panels of white paper with a grid pattern and thick, colorful diagonal bands in shades of yellow, orange, red, and blue. She is focused on her work, looking down at the panels. In the background, there are shelves and office equipment. Overlaid on the image is Japanese text in white and red. In the bottom left corner, there is an orange circle containing the word "YOUTH". In the bottom right corner, there is a red circle containing the text "第7弾".

**YOUTH  
ユースフラッシュ  
FLASH**

## 三河出身の有名人インタビュー

利谷高校出身のグラフィックデザイナー/絵本作家、渡邊千夏さんを独占取材！さまざまなきっかけを施した「かがみのえほん」シリーズを手がける渡邊千夏さん。グラフィックデザイナー/絵本作家として、自分が本当におもしろいと思ったアイデアをカタチにし続ける渡邊さんに、自分のやりたいと仕事をする秘訣を聞いてきました。

の仕事に結びつくとは思つていませんでしたけどね」「當時は将来のことなどをどのように考えていましたか？」「大学生のころに思つていたのは「きっと、社会に出たらアート的な

ことはできないんだろうな」ということ。だったら、いまのうちに自分が思つ「本当におもしろいモノ」を作りたいという気持ちが強かつたのです。あとは、予備校時代に感じたことですが、「デッサンひとつとっても上手な人って星の数ほどいるんです。そこで、隣の人とどっちが上手かを競うのが嫌になりました。そこは私がめざす場所じゃないし、ま

用品メーカーにグラフィックデザイナーとして就職しました。主な仕事は、お弁当箱やタオルなど日用雑貨のパッケージや柄のデザイン。大企業だからといってわけでもないし、等身大の自分が心からやりたいと思える仕事がその会社だったたらできると思って選びました」

いですね】

「私は現実主義者なので、アーティストにならうとは思っていませんでした。でも、どうやら、自分だけのアイデアを考えて表現するほうが意味があるという思いになりました」

発想力で勝負したいという思いが強かつたんですね。

「本を作る課題でしかけのある本に挑戦したのも、他人とアイデア的にかぶりたくなかったから。それがまた、わざと評価されることに気づき、だつたら自分しかいない山を見つけて登るほうが楽しいなって思うようになりました。『アイデアをカタチにする』という考え方や手法を大学時代に学べたことが、一番大きいですね」

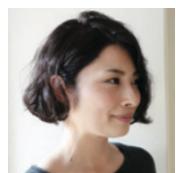
## ——大学卒業後

第7弹

「よくいいアイデアは降つてくると言いますが、正確には、いいアイデアが降つてくることに備えるという感覚に近い気がします。机に向かっているときも、散歩中も食事中も、寝ているときでも、頭の中にいろいろなアイデアは渦巻いているんです。ただ、それが追いかけてもいいアイデアなのかどうなのか？そのカンをもつことが大切。いいアイデアだと『氣づける』ことが、だと思います。いろいろなものを見てインプットを増やすのも、その力

が仕事になつてゐることがうれしいです。かつての自分にとつては、それはあくまで夢で、仕事として実現するとは思つていませんでしたから。中でもうれしいのは、おもしろいと思ったアイデアが実現する瞬間に立ち会えたとき。初めての絵本を出版したときも、印刷所・製本所に担当の編集者さんと立会いに行きました。かつては自宅にあるプリンターとカッターで1冊ずつ作っていた本が、製本所で出来上がってしていく様子を見たときは本当にうれしかったですね」

渡邊 千夏さん  
刈谷高校 出身 / 愛知県立芸術大学大学院 修了



- 19歳 筑波大学芸術専門学群に進学し、アイデアをカタチにする手法を学ぶ。
- 27歳 結婚を機に愛知に戻り、フリーランスのグラフィックデザイナーに。
- 30歳 大学時代に考えていたアイデアが絵本として出版、しかがけがあるグラフィックデザインをテーマに制作を続ける。

**黒野えりか** さん(1992年生まれ)

**吉良高校** 出身  
**中部美容専門学校** 卒業

**ECILS**

西尾市吉良町饗庭須畑前3  
<https://beauty.hotpepper.jp/kr/sInH000507183/>

なるためには

●必要資格 / 美容師免許

●主な進路 / 高校卒業→養成課程のある専門学校に進学→国家試験に合格して美容師免許を取得→マツエクの講習に通う→マツエクサロンに就職→独立してサロンをオープン

いつまでもキレイでいたいという女性の思いを叶えてあげられる仕事。

## —学生時代

「ヘアアレンジやメイクが大好きで、高校時代は、いろんな雑誌のモデルの真似をしていました。美容に興味をもつたのは、保育園のころからです。母が美容師だったこともあり、自然と美容業界をめざすようになります。高校卒業後は、中部美容専門学校に進学しました」

## 専門時代について教えてください。

「まわりがセンスのいい人ばかりだったので、とても刺激を受けました。通つてよかつたのは、同じ夢をもつた尊敬できる仲間ができたこと。最高の宝物です。授業では、カットやワインディングなど美容師の勉強だけでなく、着付けやエステ、パーソナルカラー・ネイルなど、美容に関わるいろんなことを学びました。おかげで美容の知識の幅が広がったと思います。美容のセンスだけなく、接客マナー・気配りなども身につけることができ、独立した現在もとても役立っています」

## —仕事について

「美容院に就職したのですが、職場に馴染めず半年で辞めてしましました。その後の4年間は美容と関係ない仕事をしていましたが、中美的仲間と集まつたときに、みんながキラキラして見えて…。それから、『また美容業界に戻りたい!』と思いま、マツエクの講習に通い、アイリストを目指しました。基礎技術を身につけたあと、名古屋のサロンで3年弱勤め、独立して地元にECILSをオープンしました」

## —なるためには

「アイリストとして働くには、美容師免許が必須になります。まずは、美容学校で専門的な知識や技術を身につけてください。免許があれば、私のように違う仕事を就いても、いつでも美容業界に戻つてくることができます。人生これからどうしようか立ち止まつたとき、私は免



現在の仕事内容を教えてください。

「マツエクやまつ毛バーなどをおこない、女性を輝かせる仕事です。毎朝のメイクが楽になり、起きた瞬間、前の日の自分よりかわいくなっている。そんなサービスを意識しています。まず、カウンセリングをおこない、悩みやアレルギー、デザインの希望をヒアリングします。マツエクの毛は、長さやカール、色、太さなど種類が膨大にあるので、お互いのイメージのギャップを減らすことを心がけています。たとえば、「目元をパッチリ」といつても、お客様がかなり違うんです。1mmの違いで印象がかなり違うんです。」

「旦元にサンプルを当たながら、納得してもらえるよう一本ずつ丁寧に施述していることがあります」

## ありがとうございます!

「とにかく全力で楽しんでください。勉強も部活も遊びも恋愛も! その経験がきっと自分の糧になりますよ」



18歳

ヘアアレンジやメイクが大好きな高校生。美容業界をめざし、中部美容へ。

24歳

マツエクの講習に通ったあと、名古屋のサロンに就職して経験を積む。

28歳

「ECILS」を地元にオープン。仕事を通じ、自らお客様を輝かせる!

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



自分を  
着飾<sup>ガラ</sup>ない!!

**浜崎 義貴**さん(1988年生まれ)

安城高校 出身  
愛知大学 文学部卒業

**株式会社ヴィテック**

知立市西町宮腰14  
<http://www.vtec2109.co.jp/>



なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→プラスチックファスナーを開発・製造する企業に就職→品質管理を担当

**問題の解決と改善を繰り返しながら  
製品の品質管理をする仕事。**

### —学生時代

「バスケ部に所属しており、朝練や土日の練習に欠かさず出て3年間続けたことが一番の思い出です。大会などで大きな成果を残せたわけではないのですが、たくさんの時間を費やしてひとつことに打ち込みやり切ったことは今も大きな自信につながっています」

### 大学時代について教えてください。

「愛知大学の歴史地理学科に進学し、ゼミではフィールドワークを経験しました。大学から伊良湖岬まで歩きながら、植物の生息場所を調べ分布図を作成するのですが、夜の6時に大学を出発して朝の7時に解散するという過酷な課外授業です。あとにも先に、これ以上ない苦労を経験しました。フィールドワークを通して学んだことは、一人では乗り越えることが困難なことも、仲間と力を合わせれば成し遂げられるということです。苦労とともにしたことで、歴史地理学科の仲間とは今までとても仲がいいです」

### 就職先を選んだ決め手は?

「一番は雰囲気ですね。会社説明会へ行ったときにとってもパワーを感じました。学生時代にスポーツやフィールドワークを通して培った自身のアクトエイブな部分を、この会社ならいかせると思い入社しました。最初は、何故こんなにパワーを感じるのか疑問に思っていましたが、弊社はまだまだ成長途中の会社で、一人ひとりが常に成長する姿勢と目標をもつて働くことで大きな

### —仕事について

「製品(プラスチックファスナー)の品質管理をおこなっています。生産をお願いしている協力工場へ頻繁に出向き、問題が起きていらないか、力を生んでいるのだと働くなかで実感しています」



「必要な資格は特にありませんが、相手の困りごとを自分の困りごとにできるか、相手の気持ちになつて、どうしたら効率よく高い品質を保てるかと一緒に話し合っています。現場の人たちの話に耳を傾けます。時には、お互いの意見が合わないこともありますが、納得がいくまで議論を重ねたり、小さなことでも改善点を見つけ出して修正を積み重ねていくことが大切です。そのなかで信頼関係が生まれると思っていましたよ!」

### —なるためには

「がつたよ!」と、たくさん声をかけていた大口によりました。そういった瞬間に仕事のやりがいを感じます」

——やりがい

「お客様に『ありがとうございます』と言われるこれが一番うれしいです。以前、物が溢れかえっていた工場で、よく動くものを近くに、あまり使わない



18歳 3年間バスケ部として朝練、土日練習などにも欠かさず取り組む。

19歳 ゼミでの過酷なフィールドワークを、仲間と一緒に乗り越える。

32歳 協力工場と一緒に小さな改善を積み重ね、製品の品質向上をめざす。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>





田中きみ佳さん(1999年生まれ)

豊橋西高校出身

豊橋創造大学 短期大学部キャリアプランニング科卒業

## 医療法人澄心会 豊橋ハートセンター

豊橋市大山町五分取21-1  
<https://www.heart-center.or.jp/>

- 必要資格 / 医療事務管理士 ※必須ではない
- 主な進路 / 高校卒業→短大に進学し、医療事務として必要な知識や実務を学ぶ→医療事務管理士の資格を取得→医療機関に就職

[大学卒業後、豊橋ハートセンターへ]

――仕事について――

将来は人とふれあう仕事を就きたいと考えていたのですが、その中でも医療に関わる医療事務に興味をもちました。高校卒業後、医療事務として必要な知識や実務を学ぶことができる豊橋創造大学のキャリアプランニング科に進学しました

**【大学時代について教えてください】**  
「レセプト・診療報酬請求明細書」作成や医療保険制度などについて学びました。特に力を入れたのは、医療事務管理士の資格取得のための勉強です。先生が試験用にカリキュラムを工夫してくれたり、親切にサポートをしてくれたので在学中に取得することができました。この仕事は、言葉づかいひとつで患者さんを不快にしてしまうこともあるので、接遇やビジネスマナーを学べたこともとても役立っています」

――やりがい――

「来院時は不安そうな表情だった患者さんが、診察や治療を終えたあとで明るい表情になっているところをよく見ています。また、受付のときに『ありがとうございます』と声をかけていただくななど、小さなコミュニケーションのなかで患者さんと一緒に気持ちが通じる瞬間にやりがいを感じます」

**病院の顔となり、患者さんに気持ちよく来院してもらう。**

## ――学生時代――

## ――なるためには――

「高校時代、一番の思い出は部活動です。私はハンドボール部のマネージャーをしていました。そのおかげで、まわりの状況をよく見て行動したり困っている人をサポートしたりできるようになりました。手が空いたときに何をすべきか自分で考えられるようになりますし、社会に出てからもマネージャーの経験がいかせていていると思います」

## ――進学先を選んだきっかけは――

「豊橋創造大学のオープンキャンパスに参加し、そこで初めて医療事務という仕事を知りました。もともと先生の紹介です。自分自身も成長できる環境で働きたいと思い、最先端の医療機器が揃っている当院を就職先に選びました」

「必須ではありませんが、私が取得した医療事務管理士などの資格をもつていると仕事に役立ちます。専門知識と同じくらい、患者さん一人ひとりに寄り添った対応も求められる仕事。大学ではコミュニケーション能力や接遇を学んでおいてください。高校生生活は一瞬で終わってしまいます。後悔のないよう、文化祭や学校行事などそのときしか経験できないことを精一杯楽しんでください。社会に出てからもういい思い出として残りますし、挫折しないときの支えになりますよ」

【ありがとうございました】



貢献年

18歳

ハンドボール部のマネージャーを経験し、まわりを見て行動することを学ぶ。

▼

19歳

医療事務としての基礎を学ぶ。卒業後、豊橋ハートセンターに就職。

21歳

病院の顔として患者さんとコミュニケーションを取り、明るい笑顔で医療事務の仕事に励む。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>

**メガネをただ販売するのではなく、お客様の目の問題を解消する仕事。**

**小林寛史**さん(1990年生まれ)  
豊橋西高校出身  
中部大学 人文学部英語英米文化学科卒業

**株式会社メガネ流通センター**  
豊橋市平川町11-1  
<https://www mega-world.co.jp/>

●必要資格 / 特になし  
●主な進路 / 高校卒業→大学に進学し、海外留学を経験→メガネ・コンタクトレンズの販売をおこなう企業に就職→アイコーディネーター

「3年間サッカー部に所属し、忍耐力や上下関係などを学びました。仲間とバンドを結成して音楽イベン

トでライブをしたこと思い出に残っています。小学生のころから海外に興味があり、大学では英語や外国の文化を学びたいと思っていました。中部大学の英語英米文化学科は留学が必須カリキュラムとしてあり、留学サポートがしっかりといるところに魅力を感じて進学先を選みました」

**大学時代について教えてください。**

「一番印象に残っているのは、やっぱりアメリカ留学です。私は幼いころから大人しい性格で人の目を気にするタイプでした。大学時代の経験は、すべて自分を大きく変化させます。自分で自分の意見をはつきり主張できるようになりました。大学時代の経験を積めば一通りは仕事ができるようになりますが、独り立ちとしてからはじまり、視力検査、加工までおこなっています。1年間経験を積めば、お客様に適した最善の商品を提供するため、接客からはじまり、視力検査、加工まで、その問題を一緒に解決することができます。来店されるお客様は目について困っている方が多いの

「当社は、メガネ・コンタクトレンズに関するご質問などすべてをおこなっています。来店されるお客様は目について困っている方が多いのですが、その仕事です。お客様に適した最善の商品を提供するため、接客からはじまり、視力検査、加工までおこなっています。1年間経験を積めば、一通りは仕事ができるようになりますが、独り立ちとして3年くらいの経験が必要ですね。また、現在は採用業務も担当しております。会社の魅力を学生に伝えていることも私の仕事です」

**――仕事について**

「もともと人とコミュニケーションをとる仕事に就きたいと考えていました。就活で軸にしたのはその部分です。メガワールドの会社説明会に参加したとき、ただメガネを販売するのではなく、お客様の相談をしっかりと聞くことを大切にしていました。そういう話を聞き、ここで働きたいと思いました」

**――やりがい**

「お客様とコミュニケーションをとりながら、お客様自身も気がついていない症状や原因を発見して教えてあげられたときはやりがいを感じます。目の問題をただ解決するだけでなく、何故ものが見づらいのか、目が疲れのかなどをしっかりと説明することで、スッキリとした気持ちで帰っていました」

18歳  
↓  
20歳  
↓  
30歳

部活を通して忍耐力や上下関係を学ぶ。卒業後、中部大学に進学。  
海外留学をきっかけに、自分の意見をしっかりと伝えることの大さを学ぶ。  
目のスペシャリストとして、メガワールドでメガネ・コンタクトレンズの販売をおこなう。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！  
<http://amb100search.com>

**――なるためには**

「必須となる資格は特にありません。仕事内容や商品知識などは人でから覚えていけば大丈夫ですよ。あとは、メガネ・コンタクトレンズをただ販売するのではなく、目のスペシャリストとしてお客様の役に立ちたいという気持ちが一番大切です。みなさんには、大いに意見を鵜呑みにするのではなく、常識を疑い、自分で考えて物事を決めていくという意識で生活してほしいです。自分の人生なので、自分が正しいと思ったことを貫いてください！」

「ありがとうございます！」



「自分に負けない」という強い気持ちを持ち、何事にも粘り強く取り組む。



最後まで諦めず  
自身を成長させる

渡邊 貴広さん(1993年生まれ)  
岡崎聾学校出身

### 株式会社デンソー

刈谷市昭和町1-1  
<https://www.denso.com/jp/ja/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 人事担当者からのメッセージ / 入社後に社員研修をおこなった後、適性を見極め配属されますので安心してください。明るく元気で働く人であれば活躍できる環境です。

「最初に苦労したことは?」「自分に負けない」という強い気持ちを持つことで、先輩たちの動きが速く、作業に追いつけるようになるまでは大変でしたね」

「自分が何をするうえで必要となる資格や検定は、その都度勉強して取得することになります。資格以外の面では、高校生活を通して強いメンタルと体力を身につけておいてほしいです。私もきつい陸上部の練習を通して身をつけた、「自分に負けない」。でもいかされ、何事にも粘り強く取り組むことができていると感じます。まずは小さな目標をつくるところから始め、最後まで諦めないで自らを少しずつ成長させていくってください!」

### ー学生時代

「高校時代を振り返って印象に残っているのは、部活で3年間陸上をやり続けたことです。高2のときに全国聾学校陸上大会で800m2位、高3のときは優勝できただけで思いました。もともと種目は短距離だったのですが、先生から中距離をすすめられて挑戦したことがない結果につながって良かったですし、自信にもなりました」

**就職先を選んだきっかけは?**  
「高校卒業後、先進的な自動車技術、システム、製品を世界中の自動車メーカーに提供するデンソーに就職しました。最初は専攻科に行くことも考えましたが、高2のときにデンソー・幸田製作所を見学し、働く先輩の姿や完成した製品を見て魅力を感じたことが当社を志望するきっかけになりました」

**ー仕事について**  
「入社後、まずは部品の扱い方から教えてもらいました。部品は扱う力が強すぎたり、ぶつけたりすると破損する恐れがあるため、丁寧に扱うことの大変。一つひとつ作業に慎重に取り組むようにしています。ただ、先輩たちの動きが速く、作業に追いつけるようになるまでは大変でしたね」

**ーやりがい**  
「スマーズにいかない作業を改善できただけにやりがいを感じます。繰り返し作業を速い動作でおこなっているので、そのような作業工程を放置しておくと不良につながってしまう可能性があります。新人が作業をしても不良が出ないよう、相手の立場に立って考え、作業を改善することにやりがいを感じています」

### ーなるためには



18歳 陸上部に所属し、3年生のときには全国聾学校陸上大会で優勝。

19歳 高校卒業後、デンソーに就職。部品の扱い方から教わる。

27歳 ECTの組付工程で検査を担当。働きやすい職場環境をめざし、作業改善にも積極的に取り組む。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>

